

# 白石

札幌市立白石小学校

学校だより No. 6

令和7年8月29日



札幌市立白石小学校ホームページアドレス <https://www.shiroishi-e.sapporo-c.ed.jp/>

## 大人が力を合わせると子どもは変わる

校長 岩澤 寧子

2学期が始まりました。遠足や学習発表会などの大きな行事をはじめ、2学期は、友達と力を合わせて一つのものをつくりあげる喜びや充実感を味わえる楽しい活動や取組がたくさんあります。一方で、長期の休み明けは生活のリズムが戻りづらく、不安が高まりやすいといわれています。休みが終わって1週間、本校も、元気いっぱいの子、なかなか力が出ない子と、様々です。

夏休み中、札幌市の小中～大学生の心のケアに当たっている臨床心理士・公認心理士から、子どもたちの不安に対する支援について話を聴く機会がありました。子どもたちは、不安な気持ちを、次の三つの方法で表すそうです。

- ①身体化…頭痛や腹痛、不眠、食欲不振等
- ②行動化…反抗、引きこもり、乱暴な態度等
- ③言語化…言葉で表す

言語化する力が発達途上にある子どもたちは、どうしても①と②が多くなります。でも、①は子ども本人が辛く、②は周囲が辛くなってしまいます。子どもの不安を周囲が理解し支援につなげるには、気持ちを言葉で表す③が重要で、そのためには、大人の粘り強く最後まで傾聴する態度が欠かせません。

一方で、私たち大人は忙しさの中、子どもたちの拙い話を最後まで聴かなかつたり、自分たちの価値観を押し付けたりしてしまいがちです。心理士の方は「ネガティブな気持ちも最後まで聴き受け止めることが、『こんな自分でも受け止めてもらえる』という自己肯定感につながる」と話してくださいました。

札幌市は、9月末までを「子供の命の大切さを見直す月間」とし、本校でも土曜参観では全学級、命＝自身の心身を大切にすることに關わる授業を公開します。心理士の方は最後に「**大人が力を合わせると子どもは必ず変わります**」と力強くおっしゃいました。子どもたちが「心配なことがあっても大丈夫」と安心して生活できるよう、学校や家庭、地域の大人と一緒に子どもたちの話に忍耐強く耳を傾け、共有してサポートにつなげていきませんか。2学期も、子どもたちのためにお力添えをお願いします。

## = 9月行事予定 =

1 (月)	防災教育・避難訓練 後期教科書配付 (1～5年) スクールカウンセリング
2 (火)	3 4年・たけのこ) A L T 「緑の募金」感謝状贈呈式
3 (水)	2年) 水辺の楽校 5 6年) 児童委員会活動
4 (木)	3 4年) A L T 6年) こころの劇場
5 (金)	避難訓練予備日 [通学パトロール]
6 (土)	土曜参観 (配信済お便りをお読みください。)
8 (月)	振替休業日
9 (火)	5 6年) A L T [通学パトロール]
10 (水)	4 5 6年) クラブ活動
11 (木)	3 4年) A L T
12 (金)	遠足
15 (月)	敬老の日 [通学パトロール]
16 (火)	3 4年) A L T
17 (水)	5 6年) 委員会活動
18 (木)	5 6年) A L T
19 (金)	席書大会
22 (月)	スクールカウンセリング
23 (火)	秋分の日
24 (水)	4 5 6年) クラブ活動 3年) クラブ見学 (15:10頃下校)
26 (金)	二計測・健康カード返却 [通学パトロール]
29 (月)	健康カード回収 3 4年) A L T スクールカウンセリング
30 (火)	前期通知表手交



※**白石小定期配信メール**で、情報発信しています。「すぐーる」の通知をオンにしてください、必ずお読みいただきますようお願いいたします。

## 子どもが活動する場所への私用端末等の取扱いについて

札幌市教育委員会では、子ども及び保護者が安心して過ごせる校内環境を一層整備する観点から、教室など子どもが活動する場所へのパソコン、スマートフォン、タブレット、デジタルカメラなどの私用端末や私物の記録媒体（SDカード等の外部記録媒体）の持込みを原則禁止とすることとしました。

ただし、私用端末を業務上やむを得ず持ち込む場合は、管理職に申請し、許可を得ることとしています。

### 【許可される場合の例】

- 校外学習など学校外での活動を行う場合
- デジタル教材等の提示のみを目的として利用する場合
- 授業、授業を伴う研修会で指導案の閲覧や記録メモをとるなど、撮影を伴わない場合
- 災害等の緊急時や児童の心身に関わる、校内外での白石小教職員間の連絡